強豪校を破り 木造高が 7戦全勝で初V

第4回全国高校生かるたグランプリ

02

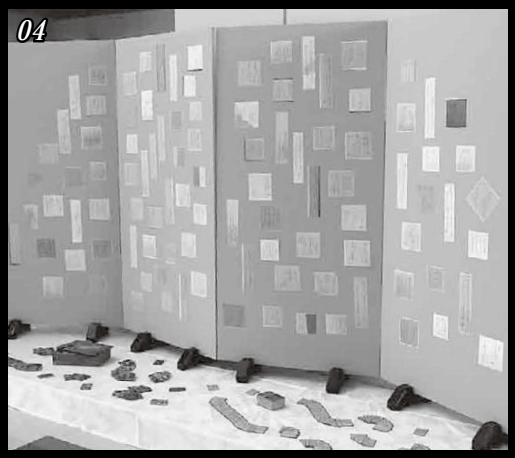
つがる市合併記念、木造高等学校創立80周年記念事業の一環としてはじまった「かるたグランプリ」。

全国各地から小倉百人一首競技かるたの強豪チームが集い、5月3、4日の両日、松の館で「全国高校生かるたグランプリ in つがる市」が開催され、東北一の実力をもつ地元木造高校が初優勝を果たした。

01

01　熱戦を繰り広げ、全勝優勝を目指す木造高校かるた部
02　全神経を集中させ札に集中する川村部長

05　選手たちの熱い戦いで役目を終えた百人一首の札「お疲れ様でした」



04　書の会「玉華」の会員が丹精込めて書き上げた小倉百人一首の歌が書かれた屏風が会場を盛り上げる

03　浅草遠州一濤流の家元である小笠原一秀さんの生けた花が来場者を歓迎する

「第４回全国高校生かるたグランプリｉｎつがる市」は５月３、４日、松の館で行われ、静から動への一瞬の真剣勝負が繰り広げられました。

小倉百人一首競技かるたは、札の読み手が上の句を読み、下の句が書いている１枚の札を瞬時に取り合うことから、「畳の上の格闘技」とも言われています。

今年で４回目を迎えた大会には、静岡東高校と静岡雙葉高校、兵庫、埼玉、群馬、福島、岩手の各県選抜チームと地元木造高校の８チームが参加。今大会は、７月の全国高等学校選手権大会、８月の全国高等学校総合文化祭の前哨戦でもあり、全国的に注目されている大会となっています。

木造高校は初日を５戦全勝と好調なスタート。最終日は、６戦目を埼玉選抜と対戦し、４－１で順調に勝ち進みました。最終戦は、ともに全勝で勝ち進んでいる強豪の群馬選抜との直接対決。段位が上のメンバーがそろう群馬選抜には、中盤まで押され気味でしたが、終盤になって各選手が追い上げをみせ、３－２で競り勝ち、見事に初優勝を手にしました。

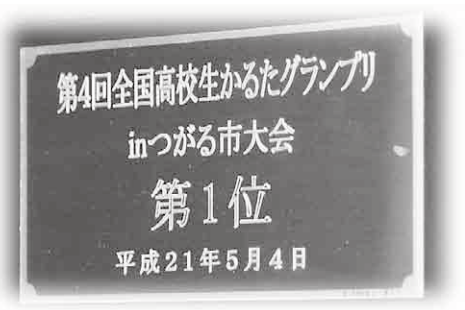
競技かるた部主将
對馬聖玲菜 さん
（２年）

一戦一戦、チームみんなで声を出し合い、「笑顔で・強気で・楽しもう」をスローガンに頑張りました。６回戦で対戦した埼玉県選抜チームとの戦いでは、私だけが負けてしまい、チームに迷惑をかけてしまいました。決勝戦に臨む前、メンバー全員で円陣を組み、みんなの心がひとつになったことで、優勝できたと思います。

競技かるた部長
川村悠華 さん
（３年）

部長として、メンバーが持っている力をいかに発揮させてやれるかをいつも思っていました。勝ち進むにつれてメンバーの気持ちもひとつになり、特に決勝戦では、集中力を切らすことなく自分たちの力を出し切って、優勝することができました。

来年の大会は５回目という節目の大会ですが、後輩たちには常にチャレンジャーであることを忘れず、謙虚な気持ちで大会に挑んでほしいと思います。



06　チーム力を集結し栄冠を勝ち取った木造高校「競技かるた部」。顧問の木村俊昭先生（前列右から4人目）を囲み、満面の笑みを浮かべての記念写真